

# 中期経営計画

## 高収益体質への変革を実現するための改革を継続的に推進

IDECグループでは、営業利益率のさらなる向上を実現するため、2024年度を最終年度とする中期経営計画を策定し、さまざまな取り組みを推進してきました。しかし、2023年度の業績や事業環境の変化を踏まえて、2024年5月に中期経営計画を見直すことを発表しました。詳細は改めて発表しますが、新たな成長に向けた構造改革を推進していきます。なお、基本戦略は変更しておりませんので、引き続き4つの戦略に基づく取り組みを行い、さらなる成長を実現していきたいと考えています。

最も重要となる「成長戦略の推進」と「収益性の向上」のための具体的な取り組みとして、事業構造の見直し、製品の収益性向上、コスト削減、運転資本の改善という、4つの項目に重点的に取り組んでいきます。

事業構造の見直しについては、積極的なソリューション提案による競争力の強化に加え、既存事業の再編などを行っていきます。

IDECでは、人と機械の関係が大きく変化するに伴い、最適なインターフェースの在り方が変化していくことを、HMI-Xと定義しています。創業当時から、人と機械を繋ぐHMIのリーディングカンパニーとして、グローバルに事業を拡大してきました。長年培ってきた制御技術をベースに、自動化・無人化・省力化需要や、安全・安心・ウェルビーイング意識の向上をはじめとする注力分野に対応した取り組みを推進することでHMI-X

を推進し、IDECグループのパーパスである「人と機械の最適環境を創造し、世界中の人々の安全・安心・ウェルビーイングを実現する」ことを目指しています。

製品の収益性向上については、新製品の投入や製品の廃止・統廃合を行っていくとともに、売上の伸び率や市場シェア、収益性が高いHMI、安全事業や、成長性の高いオートメーション&センシング事業、市場規模が大きく売上拡大を期待できる中国・インドでの拡販に注力しています。

また、競争力強化のための生産改革、効率性を重視

したグローバル生産体制の構築、プロセスの抜本的見直しによる品質・コスト改善にも取り組んでいます。併せて、グローバルベースでの自動化・省力化による戦略的なコストダウン、APEMも含めたグループ全体での共同購買、部材統一などによる製造原価の低減、低収益・不採算製品の見直しなどにより、原価率の低減を図っていきます。

なおESGの取り組みについては、環境面では2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、脱炭素を目指した製品開発を推進するとともに、内部炭素価格(ICP)を

導入し、環境に配慮した投資を促進する仕組みとして活用しています。

社会面では、グローバルで注目が高まる人権課題に対応するため、2023年にIDEC人権方針を見直しました。今後は、国連ビジネスと人権に関する指導原則に則り、人権デューデリジェンスのプロセスを構築していく予定です。その他にも、人的資本への投資拡大、働き方改革の推進などによりエンゲージメントを向上し、企業基盤を強化することで、グローバルでの持続的な成長を可能にする、強固な基盤づくりを行っていきます。

## HMI-X [Transformation]

